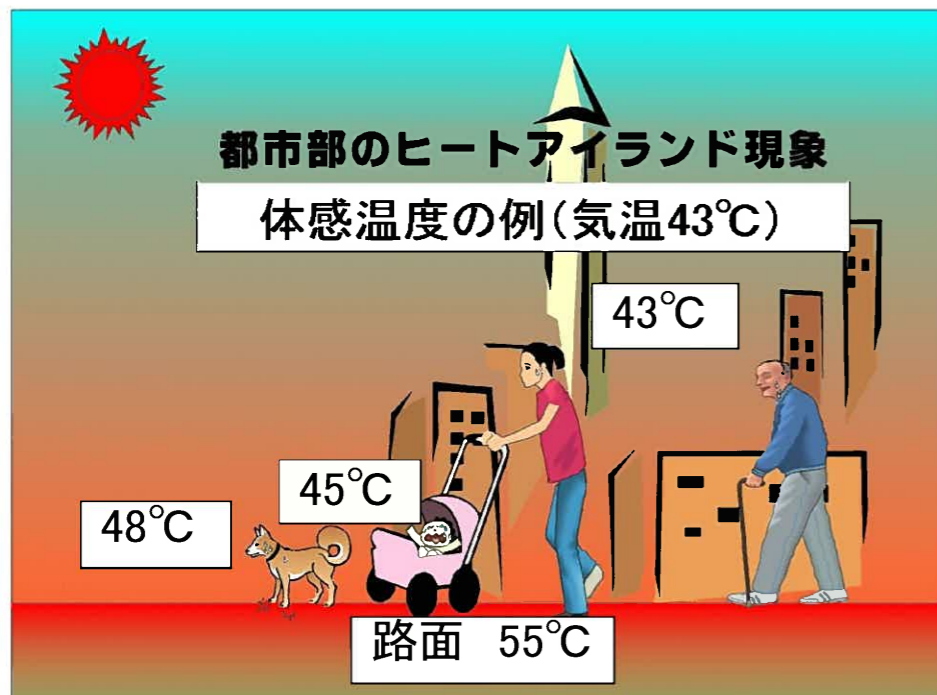


リサイクル材料を使用し 製作した保水性舗装材で**ヒートアイランド現象**を抑制。涼しい町を創ります。



【保水性平板、保水性インターロッキングブロック】で施工した施工例



体感温度は路面に近くなるほど 高くなります。

夏の暑い日に AM9:00に アスファルトと保水性舗装材に打ち水をしました。なんとその日は、外気温度が37°Cまで上昇。アスファルト路面温度は50°Cを越えました。しかし 保水性舗装材の路面温度は34°C前後。なんと16°Cもの差がつかしました。体感温度も 3°C~4°Cの差が出ました。涼しい町の始まりです。初日のAM9:00に打ち水をしその後3日間温度計測を続けたところ、3日目でも路面温度はアスファルト舗装より約10°C 低いことが確認されました。雨が降ったり、打ち水をする事により 保水性舗装は温度低減効果を3日間持続します。この舗装が各地で施工されると、必ず ヒートアイランド現象は緩和されるでしょう。また、この製品を製作するにあたって、リサイクル材を使用することで天然の砂や石を採取する量は減少し 自然破壊も防いでいるのでさらに大きな効果をもたらす【優れた舗装】であるのは 間違いありません。